○　やまぐち“とも×いく”応援表彰の受賞ファミリー（５組）

・本年度は“とも×いく”ファミリーが行っている家事・育児テクニックを「ファミ★テク」と名付けて募集

（優秀賞は五十音順）

区分	氏　名	ファミ★テク内容
最優秀賞	石井（いしい）ファミリー	＜石井家の「日曜の作戦会議」!男児３人とお手伝いミッション争奪＞ ・Uターン移住後、共働きで、男の子３人を子育て中。 ・仕事と育児で多忙な中、「名も無き家事」をリストにし可視化することで、家族間で自然に助け合える環境に。 ・週末は家族で家事の分担を話し合い、子どもたちが主体的に参加できる「ミッション」制度を導入。家事をミッション化し、ゲーム性を取り入れることで、楽しみながら家族全員で協力して「とも×いく」を実践している。
優秀賞	木村（きむら）ファミリー	＜育児の主役はパパ！「ひとりで頑張らない」夫婦のチーム育児＞ ・子育てを見据え、ママの実家がある山口県へ移住。職場の理解と支えに恵まれ、9か月間の育児休業を取得。 ・ママの心身に寄り添い、出産直後の母子入院中から積極的に育児に関わり、付き添いや授乳以外のお世話を担当。 ・夜間育児の分担や生活リズムの工夫を行うほか、日々の育児を夫婦で楽しめるような環境づくりを実践。 ・パパの大きな手を生かした抱っこで赤ちゃんもニッコリ♪
	野田（のだ）ファミリー	＜家族みんなが笑顔になる美味しい時短テク！＞ ・分担を固定せず、お互い助け合いながら家事・育児を行い、特にパパは毎日のお風呂や離乳食など、育児も積極的に行っている。 ・料理上手なパパが、週末に１週間分の食材の買い出しや下ごしらえだけでなく、離乳食や自家製ハーブを使ったソースを作り置き。 ・週末の準備や工夫により、平日の家事・育児の負担を軽減。忙しい毎日でもゆとりを持って子どもと向き合えている。 ・パパの主体的な育児参加と美味しいご飯の工夫が家族の笑顔あふれる楽しい毎日を支えている。
	吉岡（よしおか）ファミリー	＜夫婦で積み上げる〝育児ポイント制度〟＞ ・家事・育児を楽しく協力し合うため、「育児ポイント制度」を導入。 ・夜泣き対応や離乳食づくり、料理、洗濯などの家事・育児を行うたびにポイントを加算、一定のポイントが貯まると、自由時間チケットや焼肉チケットなどのご褒美と交換できる仕組み。 ・競争ではなく、お互いの頑張りを見える化しながら、相手の大変さや頑張りを実感・理解できるよう工夫。 ・ポイント制度を通じて、褒めあったり、家事・育児のバランスを話し合ったりしながら、協力して子育てに取り組んでいる。
	渡邉（わたなべ）ファミリー	＜夫の育児参加は、まだ序章。＞ ・「子育ての主役を家族みんなに広げる」ように過ごしている。 ・ママの仕事復帰に合わせてパパが約半年間の育児休業を取得。食事やお風呂、寝かしつけ、体調不良時の対応まで夫婦どちらでもできるようになり、二人で育てるのが当たり前に。 ・長女の誕生後は、長男にも子育ての輪が広がり、オムツの準備など、できるお世話を担当。「お兄ちゃん」として妹のお世話に関わっている。 ・大人も子どもも、お手伝いではなく、「みんなが子育ての主役」として、夫婦を起点に、子育ての輪が家族に広がっている。

○　子育てサークル表彰の受賞団体（５団体）

（五十音順）

サークル名	所在地	活動内容
ごはんを多幸会	柳井市	児童クラブに在籍する児童を対象に、「わくわくすいはんクッキング」を年１２回開催するなど、子どもの食に関する自立を支援している。
たぶせ みんなの食堂	田布施町	お弁当の提供やイベントを通じて、子育て家庭と地域の方との多世代交流の場を提供するとともに、子どもたちの安心できる居場所となるような活動に取り組んでいる。
特定非営利活動法人 メルヘンこども園	宇部市	シュタイナー教育を実践するとともに、イベントの開催を通じて、子育てに関する知識の普及啓発を図り、親子が交流や情報交換を行える場づくりに取り組んでいる。
なかやさんちのおさがり箱	周南市	子ども服のリユース会を通じて、子育て家庭の経済的負担だけでなく、心理的負担の軽減にもつながる活動を行ってしている。
ふるさと維新 YY プロジェクト	柳井市	上関町の漁業者と連携した漁師体験や模擬店体験「きっずまーけっと」など、地域資源を生かした特色のある企画を地域団体等と連携しながら実施している。